



夏の中学生の活動には、ご紹介したいものがたくさんあります。今回は、海外研修(カナダ・バンクーバー 8/18~8/27)についてご紹介します。

この研修は、中高合同で行っているもので、語学研修が中心ですが、カナダ-アメリカ国境体験(ピースアーチ公園訪問、ホワイトロック)バンクーバー市内見学(ガスタウン、オリンピックトーチ等)などもあって内容は盛りだくさんです。今回は、中3生15名、高1生3名、高2生5名の参加でした。

### Try anything !!

私は異国の文化や本物の英語を知りたいという目的でカナダ研修に参加しました。

最初は何も想像がつかず不安ばかりでしたがホストファミリーが優しく接して下さったおかげで不安がとけ楽しく有意義な10日間を過ごすことができました。

多くの発見と学びを得ることができましたが、特に印象に残っていることが2つあります。1つ目はカナダの人はコミュニケーションを大切にするということです。

カナダの人はとてもフレンドリーです。私が初めて買い物に行ったとき、レジで会計を済ませようと並んでいると、店員さんが「Hello, How are you?」と言って私のホストファミリーと親しく話しはじめました。他の店でも同じ光景を何度もみかけました。日本では、挨拶は交わすけれど、知らない初対面の人と仲良く話すことは少ないので新鮮で驚きました。また、私たち日本人にも気さくに話しかけてくれました。

そして、カナダの人は感謝の気持ちをたくさん表現します。ホストファミリーは私が家族のために玄関のドアを開けたときや、夕食を「おいしい」と言ったときにも「Thank you」と言葉をかけてくれました。私はとてもうれしく感じました。カナダの家庭では、お互いに感謝の気持ち伝え合っていました。その様子を見て、私は、家族にしてもらうことはあたり前のように感じ、感謝を伝えることを忘れていたことに気づき、これからはもっと感謝の気持ちを口にだして伝えようと思いました。



2つ目は、カナダの人は自分の意見を持っていて、はずかしがらずに表現しているということです。

カナダの学校では、カナダの生徒と一緒に授業を受けました。その中で、生徒は授業中に積極的に自分の意見を発言していました。とても堂々とした態度で、意見を発表する姿をみて見習いたいと思いました。また、ホストファミリーが参加するキリスト教会活動に連れていってもらったときもゴスペルという歌を歌いながら何かを力強く表現していると感じました。

私自身、表現することが苦手ですが、様々なことに関心をもち自分なりの意見を持ったり、それを相手に伝えたり表現したりする力を身につけていきたいと感じました。

カナダ研修を通じて、たくさんの文化と本物の英語にふれることができました。話す英語はとても難しかったけれど、英語を聞きとめることは最初と比べるととても分かるようになっていました。また、世界の広さと知らないことの多さを実感し、新しいことにどんどん挑戦したり勉強したりして自分を成長させていきたいと感じました。

最後に、このような貴重な経験をさせてもらった家族、ホストファミリー、学校の方々やISAの方に感謝したいです。(3年 松永さん)

中高生のうちに海外を経験することは、将来へ向けた“種まき、”になっていると思います。将来、いろんな形で世界に関わっていく中高生には、貴重な経験となりました。 2019.9.24 副校長 山部